

2019年2月21日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 証券コード: 4324)

**電通、企業買収で東南アジアにおけるデジタルマーケティング関連サービスを強化
— シンガポールのデジタルマーケティング会社「ハッピーマーケター社」の株式100%取得で合意 —**

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746億981万円）は、海外本社「電通イージス・ネットワーク」※を通じて、シンガポールのデジタルマーケティング会社「Happy Marketer Pte. Ltd.」（本社：シンガポール、Founder and CEO：Rachit Dayal、以下「ハッピーマーケター社」）の全株式を取得することにつき同社株主と合意しました。

ハッピーマーケター社は、2009年の設立以来、データ分析テクノロジーを活用したサービスを提供し、顧客の体験価値を向上させることで、高い評価を得てきました。現在では、インド・バンガロール市にもサービス拠点を構え、東南アジアの有力デジタルマーケティング会社として成長を遂げています。Google、Adobe、Salesforce等の企業と強いパートナーシップを築き、デジタルマーケティング分野におけるコンサルティング、トレーニングを軸にしたサービスを提供しています。

本件買収の目的は、当社グループのグローバルネットワーク・ブランドの1つで、テクノロジーを活用したデータ分析に強みを持つデータマーケティング会社「Merkle」（マークル、本拠地：米国メリーランド州）の、シンガポールにおける事業規模を拡大し、データ分析サービス機能を強化することにあります。今後当社は、ハッピーマーケター社のブランドを「Happy Marketer, a Merkle Company」（ハッピーマーケター・ア・マークル・カンパニー）へと改称し、知見・ノウハウを融合させることで、より競争力の高いデータマーケティングサービスを東南アジア市場で提供していきます。

なお、本件が当社の2019年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク」（ロンドン）は、10のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10のブランドとは、Carat、Dentsu（Dentsu Brand Agencies）、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

【ハッピーマーケター社の概要】

社 名 : Happy Marketer Pte. Ltd. (ハッピーマーケター社)

本社所在地 : シンガポール (インド・バンガロール市にもサービス拠点を持つ)

設 立 : 2009年6月

株 主 構 成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%

収益(Revenue) : 656万シンガポールドル (約5.4億円) (2018年12月期)

代 表 者 : Rachit Dayal (Founder and CEO)

従 業 員 数 : 55名

事 業 内 容 : デジタルマーケティング分野のコンサルティング、教育サービスを提供

以 上